

# 上北

## 1日5食限定の “シャモロック”親子丼

六戸町



しらかばしょくどう

### 白樺食堂

60年以上にわたり、町民から親しまれてきた食堂。イチオシは、地元産シャモロック使用のラーメン(700円)と親子丼(650円)。親子丼はシャモロックの卵が希少なため1日限定5食!

●六戸町犬落瀬字後田19-9 ●0176-55-2068 ●営業11:30~14:00、16:00~19:30 ●不定休

## 旬の野菜たっぷり メニューはどれもヘルシー

七戸町



### カフェグリーンブリーズ

ヘルシーランチ「温野菜カレー」(800円)「南部弁」(600円)は、10種類以上の旬の野菜を使い、1日の野菜摂取量の半分が補える。店内は5つの空間に分かれ、八甲田を眺めながらティータイムが楽しめる。

●七戸町荒熊内215-5 ●0176-58-6966 ●営業11:30~18:00 ●定休:月曜日(祝祭日に当たる場合は翌日)

2012年11月7日  
野菜がうまい!と野菜嫌いも納得するCafe GreenBreeze

## その場で揚げたて 熱々カレーパン

横浜町



にくのはまだ

### 肉のハマダ

秘伝タレに漬けた県産豚のホルモン、レバーなどの精肉のほか、その場で揚げてくれるサクサクの「カレーパン」や「肉屋のコロッケ」(各150円)が大人気。

●横浜町字横浜4 ●0175-78-2687 ●営業8:00~19:00 ●定休:1月1日~2日

2007年5月8日  
さすかは肉屋だ「肉のハマダ」

# 東青

## “今別の百貨店”支える “其田の姉さん”

今別町



そのだしょうてん

### 其田商店

日用雑貨、食料品、文房具からパソコン修理までする「今別の百貨店」。89歳の「其田の姉さん」が支える。歴史を感じる外観も見ごたえあり。

●今別町今別字今別1 ●0174-35-2004 ●営業8:00~18:00 ●無休

## ここでしか売っていない 銘菓「うばたま」

外ヶ浜町



さどかしん

### 佐渡菓子店

銘菓「うばたま」は、京菓子の黒いうばたまとは異なり、しっとりしたあんを求肥(ぎゅうひ)で包み、真っ白な米粉をまとった、ふんわり食感の和菓子。数量限定。

●外ヶ浜町字三厩中浜49 ●0174-37-2039 ●営業7:00~18:00 ●不定休

## 一番人気はメロンパン クロワッサンもオススメ

平内町



ばんやいちこ

### Panya ichico

東京・自由が丘の人気店で修行したオーナーが2010年にオープン。常連客が続々訪れる。一番人気はメロンパン。

●平内町小湊字小湊7-7 ●017-755-3536 ●営業6:30~19:00 ●定休:水・木・金曜日(毎週金曜日は小湊駅で販売)

# 三八

## 自家栽培”階上そば”が名物の ジャズ喫茶

階上町



かんのんちややとうもん

### 観音茶屋東門

本格的なオーディオ設備もあり、香りと風味がよいそばは、自家栽培している階上早生そば。寺下観音潮山神社もあり、参拝の後にJAZZを聞きながらゆっくり休める個性的な食事処だ。

●階上町赤保内字寺下13-1 ●0178-88-3987 ●営業11:00~16:00(11月~3月)11:00~17:00(4月~10月) ●定休:火曜日(祝日は営業)

## 森のレストランで味わう 絶品の田子牛

田子町



いげだふぁーむ

### 池田ファーム

人気の「サーロインステーキ」は、さしがいった最高級のもの。にんにくを使ったソースが相性抜群。併設の売店でも購入可能。森の中のレストランという佇まいが、田子牛とともに雰囲気盛り上げる。

●田子町田子字池振平11 ●0179-32-3327 ●営業11:00~19:00 ●無休

## 三戸と言ったらトミエ おばあちゃんの“きんか餅”

三戸町



きんかどう

### きんか堂

15年程前に、店主相内トミエさんが70代半ばで始めた。「きんか餅」は黒砂糖やみそ、黒ゴマ、木の実などを混ぜた「あん」を、小麦を練った「もち」でくるんだ素朴なお菓子。翌日になってもちもちの自慢。

●三戸町大字二日町70-1 ●0179-22-2740 ●営業7:30~18:30 ●定休:日曜日



# 青森市のたび歩きの拠点 ねぶたの家 ワ・ラッセ、八甲田丸



## ねぶたの家ワ・ラッセ

青森ねぶた祭りは、ねぶたと囃子、ハネトが一体となる躍動感あふれる祭り。ワ・ラッセには大型ねぶたが展示され、ねぶたの歴史や魅力を余すところなく紹介している。周辺には青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸もある。

- 開館9:00～19:00(9月～4月は18:00まで)、休館12/31、1/1、8/9～8/10
- TEL 017-752-1311



青森市文化観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセ

## 青森市 ニコニコ通り



## ここは青森市民の台所、今は「のっけ丼」が大人気

戦後、青森駅前に並んだりんご市場が起源となった通り。JR青森駅の南側に位置し、昔から青森市民の台所としてにぎわう古川地区のメインストリート。この今の一番人気は「のっけ丼」、ほかに駄菓子屋、伝説の筋子屋、リンゴ店、防寒靴ならお任せの靴店など、ここならではの店がひしめく。

## この「お姉さん」の目利きは間違いなし!



### たてやましょうてん たてやま商店

戦後の闇市のリンゴ市場から現在地に移転。リンゴ一筋の気さくなお姉さんが選りすぐりのリンゴをオススメ。

- 青森市古川1-2-5 ● ☎017-773-6229 ● 営業6:00～17:00 ● 定休: 10～12月は無休、1～6月は日曜日、7月は不定休



## 自家製粉の地元産そば



### そばどころせいらん そば処正嵐

外ヶ浜町など地元産のそばを石臼で自家製粉した二八蕎麦を提供する本格派。餅のつぶらが入った熱々のつゆに、冷たい蕎麦をつけていただく「もち天せいらん」(850円)は、女性に人気。

- 青森市古川1-2-1 ● ☎017-774-0837 ● 営業11:00～20:00(日曜日は17:00まで) ● 定休: 火曜日

## 「大王」「あん玉」… “当て物駄菓子”って知ってる?



### わじましょうてん 和島商店

終戦後、ニコニコ通りができた当時から続く駄菓子の卸店。いも菓子やあんこの玉を割ってくじきをする昔懐かしい津軽の「当て物駄菓子」まで、子どもも大人も楽しめる。

- 青森市古川1-1-4 ● ☎017-722-7929 ● 営業6:00～17:00 ● 定休: 日曜日

2009年1月13日  
三丁目の夕日ではないけれど～  
青森の駄菓子卸にて

## 「のっけ丼」の魚菜市场



### あもりぎょさいせんたー 青森魚菜センター

市民にも観光客にも大人気の「のっけ丼」。市場内で食事券を買い、ご飯をゲットしたら、新鮮な海産物、惣菜を見て回ろう。お好みの具材をのっけて特製の丼が食べられる。

- 青森市古川1-11-16 ● ☎017-763-0085 ● 営業7:00～17:00(ご飯がなくなり次第終了) ● 定休: 火曜日

2009年12月4日  
のっけ丼 古川市場に新名物登場!!

## 筋子店 切りつめ ご免の



### うちましょうてん 内山商店

青森で最も筋子が売れる店。程よい塩気と旨みがあり、安くて新鮮。朝、大量に仕入れた筋子が午前中で売り切れてしまう伝説の筋子屋。

- 青森市新町1-3-7アウガ地下 ● ☎017-775-0466 ● 営業5:00～18:30(ただし、売り切れ次第終了) ● 定休: アウガ新鮮市場休業日

2006年5月24日すじこの大人食い



あふれる品揃えに  
青森ならではの靴もあり

## 「のっけ丼」のご飯も 取り扱っている



### やまだそうざいてん 山田惣菜店

焼き魚や唐揚げ、手作り惣菜など、お刺身以外のおかずものっけてみたくなる豊富な品揃え。炭火であぶった魚の香ばしさがたまらない。

- 青森市古川1-11-16青森魚菜センター内 ● ☎017-777-6242 ● 営業7:00～17:00(惣菜等なくなり次第終了) ● 定休: 火曜日

## 青森産 インテリア 小物の ショップ



### こたが kotabi

ブナコや津軽金山焼、わにもっここのトレイ、木村木品製作所のリンゴの木を使ったモバイルケースなど、メイド・イン・青森の素敵なインテリア小物に出会えるお店。

- 青森市新町1-5-6 ● ☎017-723-0723 ● 営業10:00～18:00 ● 不定休(月曜が休みのことが多い)

2012年12月26日  
市場通りのおしゃれな  
インテリアショップ

## 靴のミカミ

在庫は1000足以上(実際は5000足はありそう)。防寒靴の種類は青森一豊富。青森オリジナルの水に浮くほど軽い長靴もある。リンゴ農家がはしごの上り下りの際に、重い長靴だと疲れるからと開発されたものだ。

- 青森市古川1-11-2 ● ☎017-722-8748 ● 営業9:00～17:30 ● 定休: 1月1日



青森市

昭和の雰囲気が残る市民のふるさとの通り

いろは通り

青森市民の台所的な存在の古川市場の一角。八百屋などが並ぶ中、レトロな喫茶店、青森一の乾物屋、市民のソウルフード雲谷そば、屋台のおかず屋、メニュー豊富なランチ店など、市民の心のふるさとの通り。



懐かしさがギュッと詰まった“記憶の空間”



コーヒーしゃ  
**珈琲舎**  
自家焙煎の豆をネルドリップで入れるコーヒーが1杯250円。店内にはブリキのおもちゃやお菓子のおまけなど懐かしいグッズがいっぱい、昭和レトロな雰囲気、ホッとひと息。

●青森市古川1-10-10 ●☎017-776-8383 ●営業7:00~18:00 ●定休:日曜

フレンチ修行したシェフが地元食材で創作料理



うみぼうず  
**海坊厨**

昼は街の洋食屋、夜は海鮮創作料理が味わえる。食いしん坊のオーナーが地元食材やいろは通りで扱う食材にこだわって、現在地に移転。質・量・見た目にも満足できるよう工夫を凝らした多彩な料理が味わえる。

●青森市古川1-13-12 ●☎017-722-5435 ●営業11:30~15:00、17:00~23:00 ●定休:日曜日、祝日の月曜日

レシピ豊富な日替ランチ



やより  
**家和**

メニューは1日50食限定の日替わりランチとお弁当のみ。365日すべて違う料理が出せる豊富なレシピと、県産食材を使用したボリューム満点の家庭の味が人気。普段は取材拒否のお店、なんとかOK頂き感謝。

●青森市古川1-15-17 ●☎017-775-0383 ●営業11:30~15:30 ●定休:日・祝日、年末年始、8月中旬



母ちゃんの手作り惣菜

ならしやうてん  
**奈良商店**

細い小路を入ると青森名物生姜味噌おでんやナスのシソ巻きなど毎日7種類ほどの惣菜と炭焼きの焼き魚が並ぶ屋台。戦後、姑が始めた店を受け継いだ“母ちゃん”の味をご賞味あれ。

●青森市古川(青森魚菜センター裏) ●電話なし ●営業6:30~17:00頃 ●定休:日曜日



ばあちゃんの手作り惣菜



よこやましやうてん  
**横山商店**

奈良商店と隣りあう。イワシの煮干し出汁の生姜味噌おでんと焼き魚、釜で炊いたふっくらご飯のお焦げが香ばしい。はるえばあちゃんが七輪で焼く絶品焼きおにぎりも人気だ。

●青森市古川(青森魚菜センター裏) ●電話なし ●営業6:30~17:00頃 ●定休:日曜日

乾物のイメージ一変！  
やっぱり「おたべなさ〜い♪」



あきやましやうてん  
**あきやま商店**

新鮮な乾物は乾いていない!?ふわっと香りが広がってうまみが濃い。臭みがない。「食べればあなたのものになる♪」と店頭で歌うご主人は、乾物の目利きだ。一口食べれば乾物のイメージが一変。

●青森市古川1-15-16 ●☎017-773-2337 ●営業8:00~18:00 ●定休:毎月8日

2012年10月31日  
新鮮な乾物食べてみたいと思いませんか!

青森市MAP



市民のソウルフード「雲谷そば」実食!



おたにせいめんこうじやう  
**大谷製麺工場**

大正15年創業。そば粉100%の津軽大谷そばは「雲谷(もや)そば」の名で親しまれ、市場の人たちも食べに来る市民のソウルフード。そば本来の強い香りを楽しめる。そばとうどんの製麺売場もある。

●青森市古川1-12-7 ●☎017-722-7050 ●営業9:00~17:00 ●定休:日曜日

2009年12月28日  
親から子へ、またその子へ  
伝えたい味~大谷のそば~うどん~





立佞武多の館

高さ22mの「立佞武多」を常設展示。映像や制作現場の見学など、祭りを一年中体感できる。

●営業4月～9月 9:00～19:00、10月～3月 9:00～19:00、8/4～8と12/31は時間変更、●休館1/1 ●☎0173-38-3232

津軽鉄道

日本最北の民間鉄道で、沿線には太宰治の生家「斜陽館」がある。ストーブ列車と津軽弁で案内するアテンダントが人気。

●ストーブ列車 12月～3月、1日2往復

五所川原市 やってまれ通り



この通り名は編集部のイメージです。

さすが立佞武多の街！ 奇抜なことユニークなものあちこちで見

戦後の大火で一時姿を消した五所川原立佞武多(たちねぶた)が80年ぶりに復活。立佞武多観光の後は、昭和レトロの風情漂う街並みを散歩がおすすめ。「やってまれ」(やってみま)の気骨を感じさせる、ちょっと奇抜で驚きのお店は古くから奥津軽の要衝として栄え、市民に親しまれてきた。のれんの向こうにはオツな商品がいっぱいだ。



やってまれセットは乗せネタ自由のオリジナル丼

市場中食堂 いちばなしゃくどう

生鮮市場内のこの店では、ご飯、しじみ汁、漬物の「やってまれセット」(250円)をベースに、店内でお刺身などを買ってオリジナル丼を作ることができる。カツ定食+刺身とダブルは上級技。「やってまれセット」のしじみ汁は季節によって変更あり。

●五所川原市大町20(マルコーセンター内) ●☎0173-26-6255 ●営業11:00～15:00 ●無休

365日探訪 ブログ 2012年7月16日 超ワイルドな「やってまれ丼」だぜ～



国内外の本物の靴が揃う 超こだわり靴店

ごものごとう さば ゴムのごとう 木靴

足がむくみやすい午後に合わせて方がよいと正午から営業するこだわりの靴店。店長の後藤さんは、その人に合った靴の選び方や体に負担をかけるない歩き方を詳しく教えてくれる。フランスの「メフィスト」の品揃えも充実。

●五所川原市字柏原町63-1 ●☎0173-34-2956 ●営業正午～19:00 ●不定休

どのメニューもボリューム満点、ごはんのおかわりも自由



はなどけい 花時計

育ちざかりのお子さんや食べ盛りのお学生さんには持って来いの店。オムライスやパスタ類からそば、ラーメンまでメニューが豊富で、どれを選んでも低価格で超大盛り。しかもとってもおいしいのでペロリ完食だ。

●五所川原市字柏原町21-1 ●☎0173-34-7399 ●営業10:00～23:00 ●無休

人気の“天中華”はラーメンにホタテかき揚げのびっくりコロボ



創業100年

かめのや 亀の家

裏メニューだった「天中華」が今や一番の人気商品。ホタテがゴロゴロと入ったかき揚げがラーメンの上のっかっている。サクサク&プリプリ食感の天ぷらとラーメンの相性が抜群だ。

●五所川原市上平井町116 ●☎0173-35-2474 ●営業10:00～18:00(※11～3月は、17:00閉店) ●定休:月曜日

365日探訪 ブログ 2005年12月16日 天中華

油で揚げた“あげたい”は今や縁起物に



あげたいのみせみやや

あげたいの店 みわや

皮はカリッ、あんこはトロッの、フライたい焼き「あげたい」。市民に愛されてきたソウルフードは、定番のほか「バーガーあげ」(120円)などのショッパイ系も人気。店内には合格祈願のミニ神社があり、今では縁起物だ。

●五所川原市字上平井町99 ●☎0173-34-2064 ●営業9:00～18:00 ●定休:第1・第3日曜

365日探訪 ブログ 2009年1月27日 この時期、人気の縁起物「あげたい」



コーヒーしん 珈琲詩人

店内はピアノやコントラバスなどが置かれ、レンガ造りの落ち着いた空間。自慢の「詩人特製ハンバーグセット」(1150円)は、ジューシーなハンバーグをベーコンで巻き、デミグラスソースをかけた贅沢な味わい。

●五所川原市大町4-18 ●☎0173-33-1584 ●営業8:00～23:00 ●無休

約2000種の模型 まさに遊び心のパラダイス



パラダイスしぶたに

その昔文房具店だったこの店は、プラモデルからエアガン、Nゲージまであらゆるホビー用品がびっしり店内を埋め尽くしている。60～80年代のレア商品などはファンにとって垂涎的。ワクワク感出し感覚を楽しめる店だ。

●五所川原市本町70 ●☎0173-34-2961 ●営業10:00～18:00 ●不定休





バスターミナルで40年  
たっぷりあんこの名物おやき

キクチのおやき

JR五所川原駅前で40年続くこの店のおやきの人気は根強い。どらやきのような珍しい形をしている。割ると中からやさしい甘みのあんが顔を出す。持ち帰りで10個、20個と売れ、焼上がりを持つ行列が絶えない。

黒あん70円  
白あん80円

●五所川原市大町38 (JR五所川原駅前 弘南バスターミナル内) ● ☎0173-34-7261 ● 営業8:30~17:30 ● 定休:日曜日

おとこ探検系 ブログ 2007年2月27日 弘南バス 五所川原駅前案内所

五所川原市金木町  
太宰の散歩道

やはりここは“太宰”の故郷、そこかしこに人生の足跡が残る

太宰の生家「斜陽館」を拠点に、“金木界隈ぶらり散歩”はいかが？「太宰通り」「メロス坂通り」など太宰の面影を忍ばせるストリートがいっぱい。地獄絵図の「雲祥寺」、津島家菩提寺の「南台寺」、「津軽三味線会館」などを巡って、ノスタルジーに浸ってみよう



これは珍しい「しじみ」の創作寿司  
直径10センチの太巻も圧巻

やっこずし 奴寿し

しじみにのぎりがあるなんて。地元の魚介を知り尽くした大将ならではの十三湖しじみの創作寿司は、全国でも珍しい。しじみにのぎり(1貫・400円)のほか、11種のネタをふんだんに使った直径10cmの「太巻き」(2800円)も極上品だ。

●五所川原市金木町朝日山468-1 ● ☎0173-52-2039 ● 営業11:30~25:00(1:00) ● 無休

おとこ探検系 ブログ

2012年11月16日 ようやく会えた太巻寿司



夏には高さ22センチの豊富なスイーツメニュー豊富で

カルネドール

地場産つくね芋のお菓子など、女性パティシエが作るお酒落でユニークなスイーツで知られる店。夏祭り時には高さ22cm、22種の材料を使った豪華絢爛な「立佞武多パフェ」がお目見え。食べるのがもったいないが、後味の良い甘さが人気。

●五所川原市大町2 ● ☎0173-35-1151 ● 営業9:00~19:00(イトインは18:00まで) ● 無休

おとこ探検系 ブログ 2012年8月10日 パフェの立佞武多は22日まで!

年代物のおもちゃの中には“お宝”があるかも!



いちのへがんでん 一戸玩具店

昭和15年創業の老舗玩具店。店内にはかなりの年代物や、日本製のしっかりした玩具も多く、懐かしの逸品が見つかるかも。小学生の社交の場にあなたも仲間入りしては?

創業73年

●五所川原市宇布屋町38 ● ☎0173-34-3335 ● 営業8:00~19:00 ● 無休

一番人気は“みそチャーシューメン” 店主は“とりもつ定食”がオススメ



ふくべ

昼時にはいつも満員御礼状態の焼肉とラーメンの店。野菜たっぷりでボリュームがある「みそチャーシューメン」(800円)はやさしい味で大人気。焼肉屋だけに、店主のおすすめ「とりもつ定食」(700円)も外せない。

●五所川原市金木町芦野84-793 ● ☎0173-54-1125 ● 11:00~15:00、17:00~22:00 ● 定休:月曜日

おとこ探検系 ブログ 2013年2月4日 最強のみそチャーシューメンみつけた!

女性に大人気の看板商品 特大バナナポート



とのさきかしてん あしのや

外崎菓子店 芦野屋

厳選したバナナを、たっぷり生クリームとカスター生地で包んだ「バナナポート」(210円)は、この店のロングセラー。長さ約15cmの特大サイズにかぶりつく瞬間は、甘味好きには至福の時。安い、うまい、大きい三拍子揃った逸品だ。

●五所川原市金木町朝日山197 ● ☎0173-52-2243 ● 営業8:00~18:00 ● 無休

五所川原市MAP



子どもたちや大人も集う、小さなおやつショップ



たこけん 多古軒

「たこ焼き」(430円)、お好み焼き(380~550円)、焼きそばなど、地元の子どもに愛され33年。40代になった創業当時の子どもたちも、その素朴な味を求め買い食いに訪れる。

●五所川原市金木町朝日山418-4 ● ☎0173-52-2052 ● 営業11:00~19:00 ● 不定休

おとこ探検系 ブログ 2007年2月22日 五所川原市金木界隈「多古軒(たこけん)」

五所川原市金木町MAP



2代目はヨーロッパ仕込み ヨーロッパ仕込み

ヨーロッパ仕込みの2代目が作る「斜陽館のレンガ」はパイ生地でりんごキャラメルを挟んだ焼き菓子。もともとは和菓子屋で「奴中」(250円)もパリパリ皮にしっかりと餡が絶妙だ。

●五所川原市金木町朝日山447-3 ● ☎0173-52-2253 ● 営業8:00~20:00 ● 無休

おとこ探検系 ブログ 2012年11月5日 金木なら和菓子洋菓子どちらもいけちゃ



斜陽の詩

地場産大豆を原料とした焼酎が完成。「おおすず」品種の「斜陽の詩」(甘口)と「オクシロメ」品種の「仁太坊三味線」(辛口)は、独特な風味とまろやかな口当たりで、どちらもこの店で試飲できる。各種お土産もそろっている。

●五所川原市金木町朝日山446-1 ● ☎0173-52-5221 ● 営業9:00~17:30(12月~3月9:00~17:00) ● 無休



# 木造駅

つがる市のたび歩きの拠点



きづくりえき

## 木造駅

縄文遺跡「亀ヶ岡遺跡」で出土した遮光器土偶を建物に貼り付けたインパクトのある外観が目を引く。巨大な土偶の目が列車の発着にあわせて点滅し、夜はライトアップされる。

## さすがご当地！ いろんな「しゃこちゃん」発見

つがる市木造は、亀ヶ岡遺跡から出土した遮光器土偶、通称「しゃこちゃん」一色の街。木造駅をはじめ、街の看板やマンホール、掲示板などいたる所で遮光器土偶「しゃこちゃん」を発見できる。あなたは、「しゃこちゃん」をいくつ見つけることができるかな？

この通り名は編集部のイメージです。

## つがる市

## しゃこちゃん通り

## 本格担々麺が評判の“津軽百年食堂”



担々麺(700円)



じんたけしよくどう  
神武食堂

創業  
90年

駅前にある人気食堂で、90年の歴史を誇る。現店主は4代目、本格的な中華料理を修業し、中華のメニューも充実。中でも特製肉味噌がたっぷりの担々麺(たんたんめん)の評判は高い。

●つがる市木造宮崎1-10 ● ☎0173-42-3421 ● 営業 11:00～19:00 ● 定休:火曜日

## 店主の技術とセンスが 和菓子にもケーキにも光る



土偶最中(140円)



たいまかしてん

## たいま菓子店

ここでも「しゃこちゃん」発見！遮光器土偶がかたどられた「土偶最中」は、うぐいす豆と呼ばれる高級な青豆使用の贅沢なあんこと餅が入っている。ホールケーキに似顔絵など描いてくれるうれしいサービスもあり。

●つがる市木造照日28-3 ● ☎0173-42-2232 ● 営業8:00～19:00 ● 無休

## しゃこちゃんのどら焼き、 せんべいを手焼きで 実演販売

しゃこちゃん  
どら焼き150円



まちのえき あるびよん

## 街の駅 あるびよん

「NPO法人元気おたすけ隊」が運営する産直広場。地元の特産品やお土産品が盛りだくさん。「しゃこちゃん」のどら焼きやせんべいを手焼きで実演販売、焼き立てが食べられる。

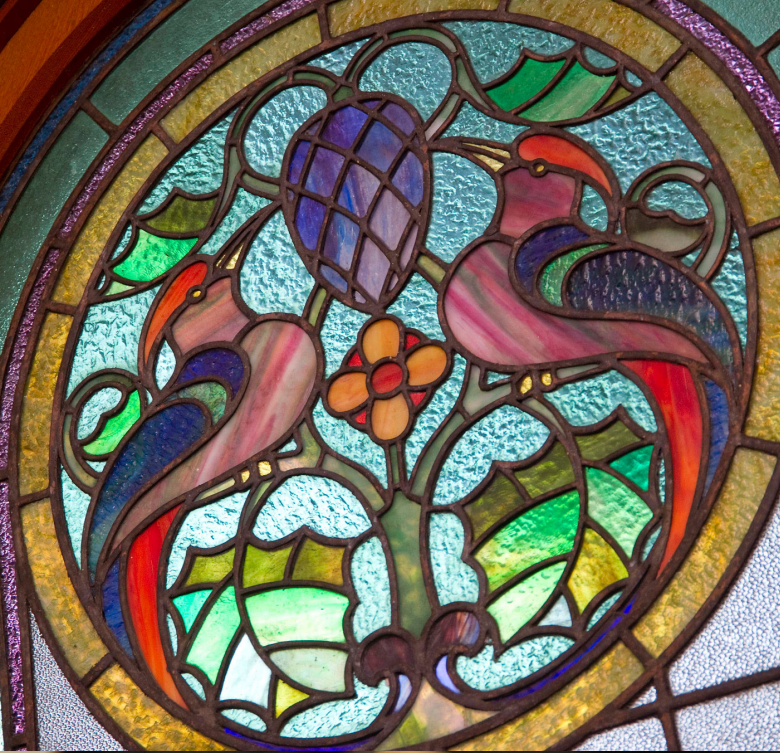
●つがる市木造千代町36 ● ☎0173-42-8333 ● 営業9:00～18:00 ● 定休:毎月第2・第4水曜日

## つがる市MAP



2012年 11月 21日  
ラーメン三昧、麺三昧







# 弘前市のたび歩きの拠点



## ひろさきじょう 弘前城

津軽氏の居城弘前城は、日本屈指の桜の名所。約2600本の桜が咲き誇り、天守閣をはじめ3つの櫓と5つの城門、三重の水濠と相まって情緒あふれる美しい景色を見せる。

●弘前さくら祭り 毎年4月23日～5月5日

## 弘前市 下土手町



### 中土手町から続く下土手町は、足を止めたくなる店ばかり

斬新な外観の中三弘前店は、縄文土器をイメージしたこの地区のランドマーク。江戸時代は参勤交代の街道として栄え、大正12年には東北初の百貨店「かくは宮川呉服店」が開業するなど、今も昔もハイカラな通りだ。



創業  
98年



かめやかわくてん  
**亀屋革具店**  
創業大正4年。当時は馬具の制作、販売をしていた。その熟練技術を生かした牛革のオリジナルバックは、堅牢で飽きがこず、全国から注文が来る人気商品。

●弘前市一番町24 ● ☎0172-32-2077 ● 営業9:00～17:30 ● 定休:日曜日、年末年始、お盆

## 評判を呼ぶ東北のエルメス

### 津軽のソウルフード “中みそ”



なかみそ  
**中みそ**  
40年以上親しまれてきた「中みそ」は、ニンニクと生姜風味の甘味噌に、シャキシャキ野菜とひき肉が食欲をそそる味噌ラーメン。平日は学割50円引。(中600円)

●弘前市土手町49-1中三弘前店内 ● ☎0172-34-3131 ● 営業10:00～19:30 ● 無休

まごころ 2008年3月3日、5日、11日  
「中みそ」津軽人が愛したみそラーメンの歴史(1～3)

### 素材が引き立つ 上品な味わいの和菓子



すずろ  
**寿々炉**  
県内産の材料を中心に、丹精込めて作られた和菓子は、素材の風味が生きた上品な味。店内の茶室で、「煎茶と生菓子」(600円)、「抹茶と干菓子」(650円)がいただける。

●弘前市田代町14-2 ● ☎0172-36-2926 ● 営業9:30～18:00 ● 不定休

まごころ 2007年6月26日  
弘前スイーツ2～寿々炉



### 笹森シェフの思い出の ピZZAを再現

びつぷりあだきすいーの  
**pizzeria DA SASINO**  
本格イタリアンの名店シェフが、イタリアの思い出のピZZAを再現。モッツアレラチーズは地元のジャージー牛乳から毎朝手作りし、本場ナポリの窯で焼き上げる逸品。

●弘前市土手町62-1 ● ☎0172-33-2139 ● 営業11:30～14:30、17:00～21:00 ● 定休:月曜日(祝日の場合は火曜日)

### 表面はカリッ中はもちもちの 絶品ワッフル



かふえじーば  
**CAFE JEEBA**  
老舗の佃煮店をリメイクした店内は、昔の柱や梁が生かされた重厚感ある落ち着いた空間。カリッともちもちなワッフルは定番「プレーン」(350円)のほか、冬はリンゴバターとサツマイモ、秋は栗など季節で違った味が楽しめる。

●弘前市土手町27 ● ☎0172-38-2118 ● 営業9:00～18:30 ● 定休:第1・3月曜日

まごころ 2009年3月24日  
弘前りんごスイーツ6  
～CAFE JEEBA～

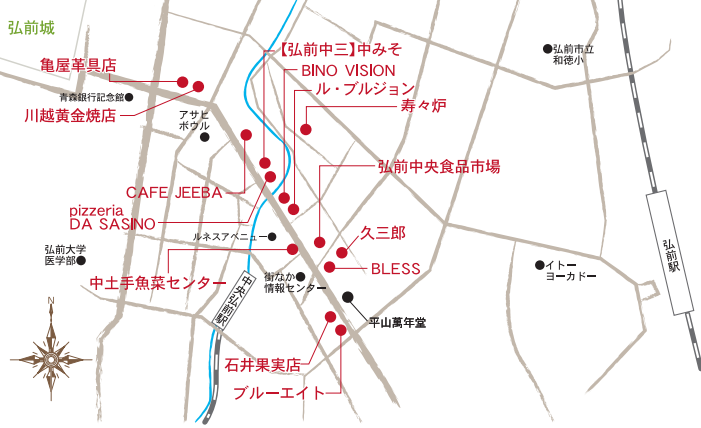
### 川越のおやきは“白あん” がたまらない



かわごえこがねやきてん  
**川越黄金焼店**  
明治中期創業。店は建て替えられたが、大正時代の面影を残すように工夫された。おやきの餡(あん)は創業当時から白餡のみ。値段は当時の官製はがきと同じくらいに合せているので、現在は1個50円。

●弘前市土手町21-3 ● ☎0172-32-6547 ● 営業9:00～20:00 ● 不定休

### 弘前市MAP





弘前市

中土手町

店の看板、子どもの足跡、ここはぶらぶら歩くに限る

中土手町のランドマーク「一戸時計店」の時計台は明治30年に建造され、以来ずっと時を刻み続けている。中土手町にはこのほか創業百年以上の老舗、市民の台所である2つの街中市場、ハイクオリティでモダンなショップなどが軒を連ねる。レトロとモダンが並存する街並みは、散策にもってこいだ。



本場仕込みのフランス菓子は  
原材料にもこだわって

### ル・ブルジョン

フランスで地方菓子を学んだ後、新型バウムクーヘンの「ガトー・ピレネー」で有名な東京の「オーボンヴェータン」で修業したパティシエは原材料にこだわる。卵、砂糖、小麦粉、バターなどは最高級品を使い、アーモンドは使う直前に砕くから香り豊か。本格嗜好の大人のお菓子だ。



●弘前市土手町77-1 ● ☎0172-55-8575 ● 営業10:00~19:00 ● 定休水曜日(祝日の場合は翌日)

2013年1月14日  
弘前に本格的なフランス  
伝統菓子の店がオープン

### レトロとモダンが融合した 土手町の台所



### 弘前中央食品市場

長〜い通路に個性豊かなお店が並ぶ。ゴロリと大きな「イガメンチ」、ホクホクの「大学イモ」(100g 130円)など、買い食いアイテムが充実。野菜、デリカ、スイーツ販売のお洒落なマルシェ「ポヌール」の海鮮丼(650円)も人気。

●弘前市中土手町85-1 ● ☎0172-35-0144 ● 営業9:00~18:00 ● 定休木曜日

2011年10月3日  
市場内におしゃれな店  
「BONHUEI」オープン!

### “ブナコ”特有のデザイン、 質感、機能をじっくり体感



### ブナコショールーム BRESS

ブナコは、テープ状にした県産材のブナを、コイル状に巻いて作る独自のクラフト。新商品・音響スピーカー「Faggio」(伊語・ブナの意)は曲線が美しく、森の中で音楽を聴いているような透き通った音質が特徴的だ。

●弘前市中土手町100-1もりやビル2F ● ☎0172-39-2040 ● 営業10:30~19:00 ● 定休年末年始

2012年10月10日  
BUNACOスピーカーの  
音を体感してみませんか?

### 土手町十字を見渡して “チキンソテー”or“ポークカツ”



### ブルーエイト

ド迫力の「おぼけパフェ」で有名な店。おすすめは「チキンソテー」(クミン風味クリームソース)と「ポークカツ」(ワイン風味デミソース)(各680円)。見晴らしの良い2階席で完成度の高い味をどうぞ。



●弘前市土手町132-2 ● ☎0172-35-9666 ● 営業11:30~20:00 ● 不定休

2011年6月17日  
弘前、土手町ランチなら「ブルーエイト」

### 小ぶりな市場に ピカッと光る5店舗結集



なかどてぎょせいせんたー

### 中土手魚菜センター

地元百貨店の食品売り場が移転。弘前限定「石川ウィンナー」、鮮度抜群「ひらめの昆布メ」、口溶けホロホロの「棒たらの煮付け」など食通をうならせる。桜色がきれいな大根と鮭の飯寿司「サケサンド」もおすすめ。

●弘前市中土手町86 ● 営業9:00~18:30 ● 定休日曜日

### ノウハウを知り尽くした 目利きオーナーのメガネ専門店



びーのびじょん

### BINO VISION

大手メガネメーカーの支店長として赴任してきたオーナーが弘前を気に入り独立。検査、フィッティング技術のレベルが高く、お客にあったメガネの提案をしている。

●弘前市土手町71 ● ☎0172-31-5255 ● 営業10:00~19:00 ● 不定休

### さすがりんごの街弘前 良質の地元産がズラリ



いしいかじつん

### 石井果実店

最高級の果物を100年近く提供し続けている老舗店。秋口から店頭には木箱入りの地場産リンゴは、色とりどりで見るだけでもワクワクする。好みのリンゴを量り売りしてくれるので、リンゴの丸かじり & 街歩きで弘前気分を味わいたい。

●弘前市中土手町111 ● ☎0172-32-4834 ● 営業9:30~18:00 ● 不定休



きゅうざぶろう  
久三郎

創業100年の老舗文具店・平山萬年堂の姉妹店。裏通りの小さな店だが、若者向けの可愛い雑貨、高機能文具をはじめ、年代物・舶来ブランドの万年筆など愛好家にはたまらないレア物が豊富だ。希望で平山萬年堂の非売品万年筆コレクションも見せてくれる。

●弘前市南瓦ヶ町18 ● ☎0172-32-0880 ● 営業11:00~19:00 ● 不定休





なかまちこみせどおり  
**中町こみせ通り**

こみせは雪の季節に重宝される藩政時代のアーケード街。国の重要伝統建物群保存地区の中町こみせ通りには、国指定重要文化財の「高橋家住宅」や昔ながらの造り酒屋などが並んでおり風情を感じさせる。

# 黒石市のたび歩きの拠点 中町こみせ

**黒石市**



**こみせ通り周辺**

このエリア名は編集部のイメージです。

**そば屋、イタリアン、古書店……  
こみせの周りにも魅力的なお店たくさん**

中町こみせ通りに隣接する浦町や前町にも、同様に趣のある「こみせ」や「蔵」などの建物や創業100年を超える老舗などが軒を連ねる。昔ながらの店に加えて、お洒落なイタリアンなど、通り伝いの道逍遥も心弾む。



人気の「串団子3兄弟」と  
「こけし団子」

よこはまや **横浜屋**  
店名の由来は、修業先が横浜中華街近くだったため。ごま、みたらし、あんの「串団子」(各70円)のほか、新発売の「こけし団子」(120円)は注文後に団子を炙り、みたらしを絡めるので、ほんのり温かく香ばしい。

●黒石市山形町142 ●☎0172-52-5503 ●営業8:30~19:00 ●無休

店名の由来は金色に輝く樹齢300年のイチヨウから



そばやきのいちよう **蕎麦や金の銀杏**

長野で十割蕎麦のおいしさに感動し、実家の蔵を改造して蕎麦屋をオープン。温かい二八蕎麦もあるが、県産の蕎麦粉で打った十割蕎麦は甘味と風味が豊かで、つゆなしでもうまい。自家栽培の辛味大根は、蕎麦と絶好の相性。

●黒石市浦町2-4-2 ●☎0172-53-7286 ●営業11:00~19:00 ●定休:火曜日

ここにも「百年家業の老舗」が



うえはらごふくてん **上原呉服店**

創業100年の老舗呉服店。高級和服から和雑貨、普段着まで品ぞろえが幅広い。ウィンドウに展示されている地元作家の「津軽こぎん刺し」や「津軽裂き織り」は、リーズナブルな価格で買い求めることができる。

●黒石市前町10-1 ●☎0172-52-2328 ●営業8:30~18:30 ●定休:第1・3日曜日

築100年の蔵でこだわりの本格パスタをいただく



さっそねろ **サッソネロ**

東京上十条のイタリアン店・サッソネロ(黒い石の意)のオーナーが出身地に本格パスタの店を開店するという長年の夢を実現。自家製青森シャモロックの「黒カレースパゲティ」(980円)はスパイシーな逸品。

●黒石市ノ町10-1 ●☎0172-88-7680 ●営業11:00~15:00、17:00~22:00 ●定休:火曜日

立ち読みできてコーヒーも飲める小さな古本屋



かいこしよりん **廻古書林**

店名は「古い物がまた巡り戻ってくる」という意味。かなりの年代物や「あの時代に流行ったあの本だ!」と思われお宝がザクザク。ゆっくり本を探せるようにカフェも併設している。

●黒石市前町39 ●☎0172-52-3655 ●営業9:00~17:00 ●定休:日曜日

**黒石市MAP**



“つゆやきそば”の  
元祖「美満寿」の味を再現!



くろいしやきそばせんもんてんすずのや **黒石やきそば専門店すずのや**  
居酒屋を営んでいた店主が、昔食べた元祖つゆやきそば「美満寿(みます)」の味を再現。もっと気軽に食べて欲しいとこみせ近くに開店した。「化けやきそば」(600円)は焼きそばとつゆ焼きそばの2通りの味が楽しめる。

●黒石市前町1-3 ●☎0172-53-6784 ●営業11:00~15:00 ●定休:火曜日



2009年4月30日  
黒石やきそばのお店が  
またまた増えました!



2011年2月16日  
築100年の蔵でイタリアン  
SASSONERO





せいびえん  
国指定名勝 盛美園

明治時代の作庭の中でも三名園の一つに数えられた武学流の廻遊式名園。敷地内には和洋折衷の盛美館や、御宝殿が建つ。映画「借りぐらしのアリエッティ」のイメージになった。

- 開園4/16～11/20まで9:00～18:00、11/21～4/15まで10:00～15:00、無休
- TEL 0172-57-2020

# 盛美園

平川市のたび歩きの拠点

## 平川市



## 尾上十文字

このエリア名は編集部のイメージです。

## グルメにはたまらない食のスクランブル交差点

藩政時代に近江商人が渡って来て、商人街として栄えた旧尾上町。かつて、馬車道の交差点だった「尾上十文字」境界は、今もなお当時の繁栄ぶりがうかがえる。小さな街にも関わらず、食堂や老舗の菓子店が多く、そのグレードの高さには脱帽だ。

## 「特煮干中華」は自家製麺もチャーシューも魅力的



こうえん  
香園

煮干しだと聞くと魚臭いと思いきや、スープは濃厚なのに全く臭みが無く、うまみがギュッと詰まっている。実は遠赤外線で焼いた煮干しを使っているのがミソ。自家製麺、手作りの鶏と豚のチャーシューも丁寧な仕事ぶりだ。

- 平川市尾上栄松32-1 ● ☎0172-57-2145 ● 営業11:00～16:00 ● 定休水曜日



こがわかしほ  
古川菓子舗

創業から80年余の歴史を誇り、和洋折衷の趣ある店舗外観も街並みに映えている。銘菓「蔵口マン・蔵まんじゅう」はこの地域の農家蔵にちなんだ素材でシンプルなお菓子。蔵をイメージした「発芽玄米チョコ」も人気。



- 平川市尾上栄松24-1 ● ☎0172-57-2206 ● 営業7:30～19:30 ● 無休

店舗は街並みに映え、創業80年の貫禄十分



かしどころしや  
菓子処西谷

先代までは和菓子店だったが、現店主が修業先のフランス料理店でデザートを担当したため、和洋折衷の新商品を考案した。農協とのコラボで、新しい特産物として売出中の桃を使ったスイーツも展開。桃の蒸しドラ(147円)は美味。

- 平川市尾上栄松61-2 ● ☎0172-57-2240 ● 営業8:00～19:00 ● 不定休

## 看板商品はなんといっても「スイートポテト」



あたらしや  
新し屋

農林水産大臣賞受賞の銘菓「みちのくスイートポテト」。材料はサツマイモ、フレッシュバター、生クリーム、鶏卵のみで、添加物を一切使わず、じっくり焼き上げた手作りのお菓子。思わず笑顔がほっこり。

- 平川市尾上栄松122 ● ☎0172-57-2021 ● 営業6:00～19:30 ● 不定休

## 焼きそばとラーメンで評判呼ぶ尾上の名物食堂



だいじゅうしょくどう  
大十食堂

120年余り続き、店主も4代目の大衆食堂。自家製麺、豚骨の髓のうまみを引き出したラーメンスープ、そして焼きそばの油はラードと、伝統を重視している。平太麺の焼きそばは、甘辛さと酸味が絶妙なハーモニーを奏でる。

- 平川市尾上栄松19-1 ● ☎0172-57-2022 ● 営業11:00～17:00 ● 定休月曜日(祝日の場合は火曜日)

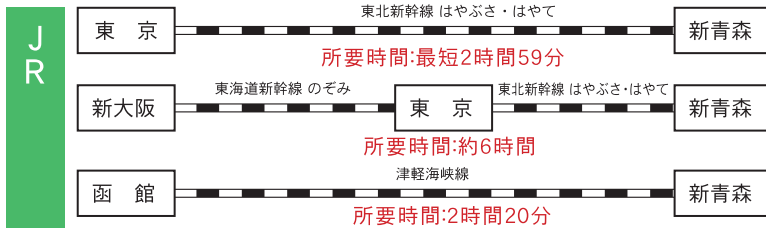
平川市尾上MAP



2006年6月  
百年食堂大十食堂



ACCESS GUIDE



※ご利用される列車や日時によって、目的地までの所要時間が変わる場合がありますので、ご旅行の際はあらかじめ駅窓口にてお尋ねいただくか、大型時刻表でご確認ください。

●JR東日本の時刻、運賃、空席情報のお問い合わせ

☎050-2016-1600 (6:00~24:00)

航空	東京	← 1時間20分 →	青森
	大阪(伊丹)	← 1時間35分 →	
	札幌	← 50分 →	
	名古屋(小牧)	← 1時間25分 →	
	ソウル	← 2時間15分 →	三沢
	東京	← 1時間20分 →	
	大阪(伊丹)	← 1時間35分 →	

JAL国内線予約・案内

☎0570-025-071

☎03-5460-0522

FDAコールセンター

☎0570-55-0489

☎054-903-3110

大韓航空青森支店

☎017-732-3311



観光問い合わせ

観光案内所等

- 青森県観光連盟 ☎017-734-2500
- 青森空港総合案内所 ☎017-739-2007
- 青森県東京観光案内所 ☎03-5276-1788
- 青森県大阪情報センター ☎06-6341-2184
- 青森県名古屋情報センター ☎052-252-2412
- 青森県福岡情報センター ☎092-736-1122
- 青森市観光交流情報センター(青森駅前) ☎017-723-4670
- あおもり観光情報センター(JR新青森駅内) ☎017-752-6311
- 弘前市観光案内所(JR弘前駅内) ☎0172-26-3600
- 弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
- はちのへ総合観光プラザ ☎0178-27-4243
- 五所川原市観光案内所 ☎0173-38-1515
- 十和田湖総合案内所 ☎0176-75-2425
- 三沢市観光案内所(スカイプラザミサワ内) ☎070-5621-6010
- 七戸町観光交流センター ☎0176-51-6100
- むつ市来さまい館 ☎0175-33-8191
- むつ市観光案内所 ☎0175-34-9095

観光バス

- 青森県バス協会 ☎017-739-0571  
<http://www.aomoribus.or.jp/>

レンタカー

- 青森県レンタカー協会 ☎017-739-0560  
<http://www4.ocn.ne.jp/~aorekyo>

ホテル・旅館

- 全旅連「宿ねっと」 <http://www.yadonet.ne.jp/>
- 青森県旅館ホテル生活衛生同業組合 ☎017-777-3411

●青森の最新情報や特ダネ満載  
まるごと青森ブログ  
<http://marugoto.exblog.jp/>

●青森県観光情報サイト(アプティネット)  
<http://www.aptnet.jp/>

【発行】青森県観光国際戦略局まるごとあおもり情報発信チーム ☎017-734-9400

※記載の情報は平成25年3月現在のものです。記載内容が変更となる場合がありますのでご了承ください。  
この印刷物は11,000部作成し、企画から印刷までの作成費用は1部あたり140円です。平成25年3月作成